



サトヤマキッズ

カラダをつくり、脳をはぐくみ、ココロを育てる

運動
療育

感覚
統合

自然
遊び

わたしたちの考えと支援内容について

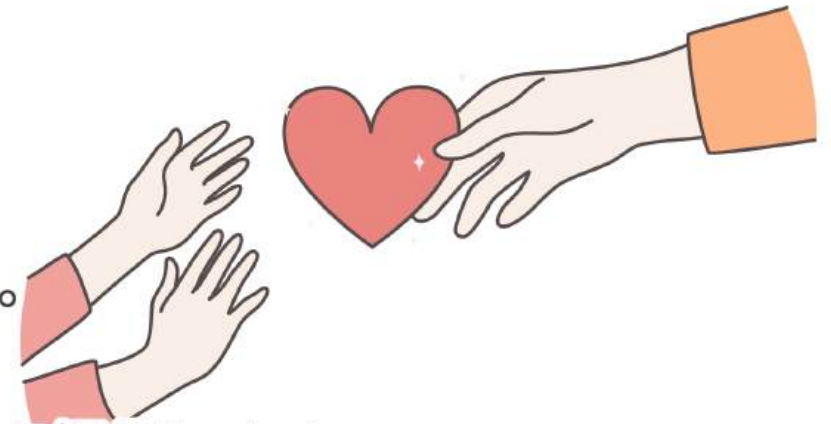
【サトヤマキッズの理念】

わたしたちの使命は、

こどもたち一人ひとりを見つめ、こころに寄り添い、共感し、喜びをともにわかち合いながら、自己肯定感をはぐくみ、幸福な人生の礎（いしずえ）となる体験を提供し続けることです。

そのために、次の3つの考え方を実践します。

- ・わたしたちは、物事を正解に導く教育者や先生ではなく、未来あふれるこどもたちの人生に寄り添う伴走者となります。
- ・わたしたちは、楽しい運動と自然あそびをベースに、運動・医療・心理のエビデンスに基づいたオリジナルな療育を提供します。
- ・わたしたちは、運動が上手になる、技術を習得することを目的とせず、大きな自然の中で遊びながら楽しくカラダを動かすことで、こどもたちのやる気、興味、意欲を引き出します。



支援者が全てを手助けしたり指導したりするのではなく、こどもたち自身の創意工夫、がんばりによる成功体験の積み重ねを何より大事にしています。

それによる自己肯定感のはぐくみこそが、こどもたちの希望あふれる未来の原型になるとわたしたちは考えます。

「先生」ではなく「伴走者」として

ともに遊び、ともに学び、ともにさまざまな経験をし
こどもの主体性を第一に自分らしく成長してもらう

「教える」場所ではなく
こどもたちの発達を「育む」場所であること

成長を支える伴走者としてこどもたちと向き合います



こどもたちには「先生」ではなくお名前か、「おにいさん・おねえさん」と呼んでもらっています

《五領域の支援について》

サトヤマキッズでは、主に“運動あそび”と“自然あそび”を通じて、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間性・社会性」の五領域を踏まえながら
 ◆運動機能◆認知能力(学力、記憶力など)◆非認知能力(意欲、協調性、自制心とやり抜く力、自己肯定感など)の育みにアプローチします。



「健康・生活」

ねらい

- 心と身体の健康の維持・増進
- 基本的な生活習慣やスキルの獲得

【支援内容の例】

- 心身面の健康状態の把握



- 手洗い・あいさつ・片づけ・食事など生活スキルの支援



- 運動の習慣化による心身の安定



- 理学療法士等によるボディケア



- 定期的な身体測定



「運動・感覚」

ねらい

- 感覚面の発達促進、運動機能の向上
- 成功体験の積み重ね
- 達成感や意欲、やり抜く力の育み

【支援内容の例】

- 感覚統合をベースにした運動あそび
前庭覚・固有覚へのアプローチ



- 自然の中でのあそび
自然を楽しみ自然から学ぶ



- ボディケアによる感覚入力促進
固有受容覚へのアプローチ



- アートづくり・工作あそび
微細運動の向上



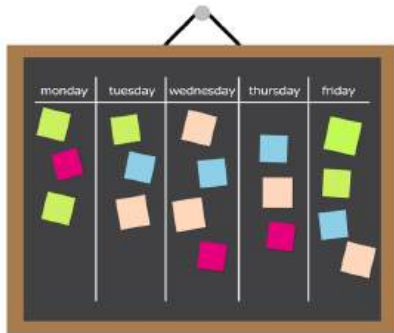
「認知・行動」

ねらい

- 認知や行動の手がかり、色・形・大きさ・数・時間といった概念の形成
- 学習する力の育み

【支援内容の例】

- 構造化による環境調整
(スケジュールボード、タイマー使用など)
先の見通しを持つための視覚支援



- ビジョントレーニング
視覚認知能力や空間認識能力の向上



- 運動あそびによる
ボディイメージ形成、実行機能の向上



- 宿題の時間 ※放デイ
学校の宿題をやる子は時間を設けてサポート



「言語・コミュニケーション」

ねらい

- 言語の形成と活用、言語の受容及び表出
- コミュニケーション能力の向上
- コミュニケーション手段の選択と活用

【支援内容の例】

- 絵カードでのコミュニケーション
自分の思い・考えを伝える力を育む



- 絵本の読み聞かせ ※見発



- 異学年でのグループ活動によるコミュニケーションの発達
協働、助け合い、お互いの行動の振り返り 考えていることや感情を言葉に置き換える練習



「人間関係・社会性」

ねらい

- 自分を知り、他者と共に生きることを学ぶ
- 身近な世界にある事物の経験、発見、探求
- 自分とは異なる他者との違いを知る

【支援内容の例】

- ソーシャルスキルトレーニング・アンガーマネジメント
"自分自身のことを知る"



- 施設外での社会体験活動 ※放デイ
社会を経験、他者との違いの学び



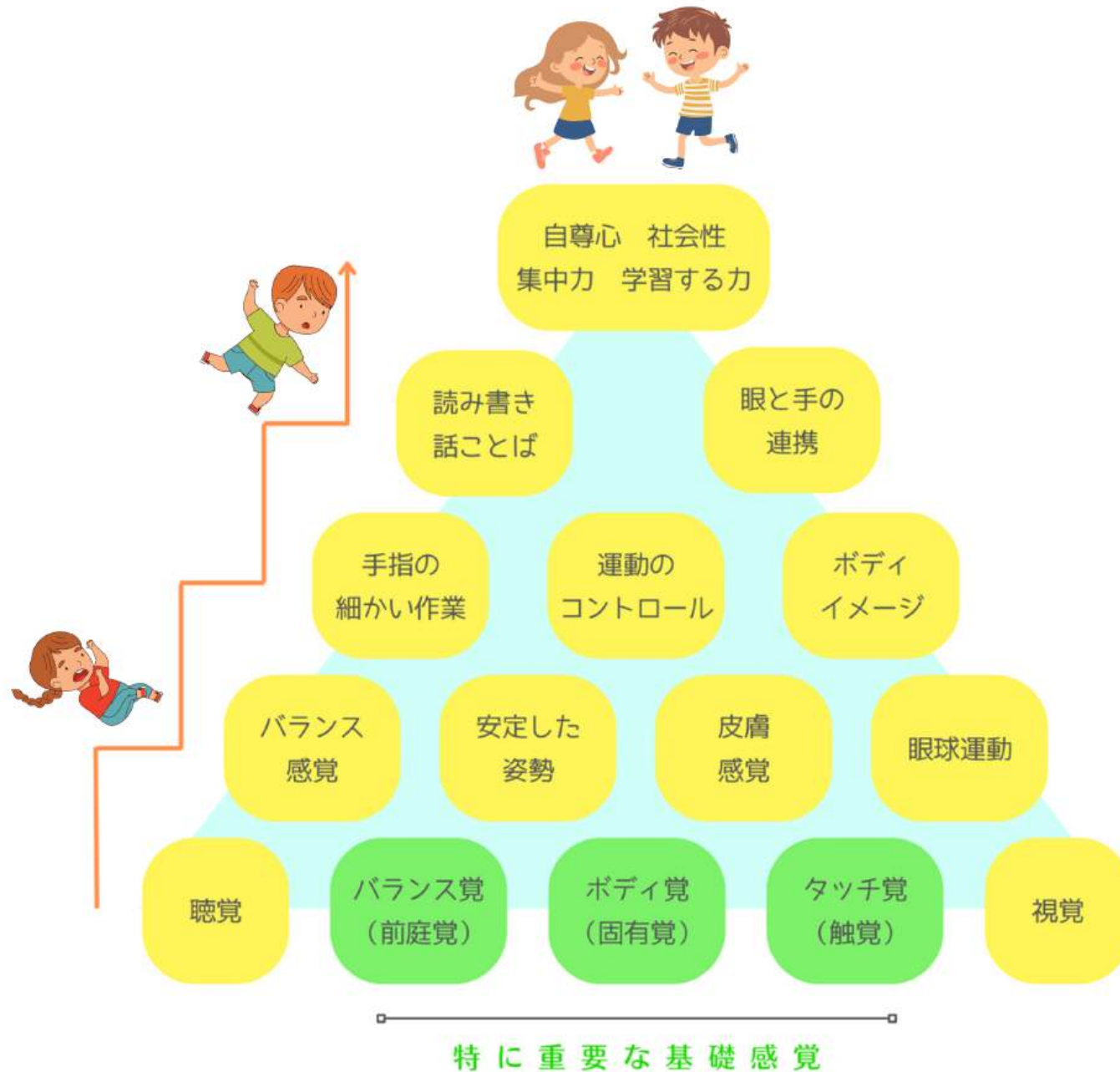
- あそびによる社会性や対人関係の発達
"あそびは学び"



- 催し 喜びも悲しみも感情をわかちあう
誕生日を祝ったり、季節を感じる行事をしたり



『感覚統合』の考えをベースとした運動あそび



私たちは脳に流れ込んでくるさまざまな感覚情報を、脳で認知して選択・整理し、判断したことを運動神経を介して筋肉に伝え、運動を起こしています。発達の段階で育っていく、この感覚情報の適正化と組織化を『感覚統合』と呼びます。

発達に凸凹を持った子どもたちは、感覚情報を統合することが難しく、いろんな適応力のつまずきを起こしています。サトヤマキッズでは、"発達の積み木"を正しく積み上げるための感覚統合の考えにもとづいた運動/自然あそびを実践していきます。

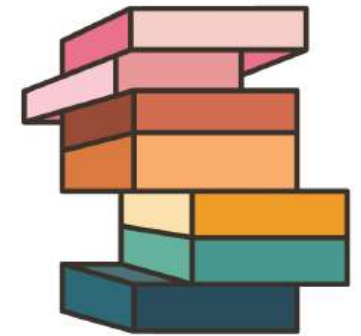
《職員の質の向上に資する取組》

毎年度、職員教育訓練計画書を作成し、支援の質向上のための施設内外での定期的な研修をおこなっています



【研修項目 2024年度施設内実施例より】

- ・感染症対策 ・虐待防止／身体拘束廃止
- ・BCP（感染症、自然災害） ・安全計画
- ・ヒヤリハット／事故防止（失敗学アプローチ）
- ・運動療育OJT研修（外部講師）
- ・DCD（発達性協調運動症）
- ・発達が気になる児童への理学療法アプローチ
- ・神経発達症に用いる薬物療法
- ・こどもの権利（こども基本法など）
- ・支援が必要な児童の進路進学
- ・感覚統合 ・かんしゃくおよびこだわり行動
- ・場面緘黙 ・不登校児への支援 ほか



児童発達支援管理責任者研修、児発管専門コース別研修、強度行動障がい支援者養成研修ほか支援者のスキルと経験によって、外部の研修受講も奨励しています。

《家族支援／移行支援／地域支援・地域連携》

ヒトと地域とのかかわりを大事にしています

毎月開催 『サトヤマこども食堂』

サトヤマキッズのこどもたちも
一緒にお手伝いや食事を楽しんでもらいます
(主に放課後等デイサービス)
餅つき(12月)も毎年恒例の行事です
ご家族の皆さまもご利用ください



老人ホームのシニア との交流

隣接する老人ホーム「風のガーデン」の
入居者たちと敬老の日(9月)、
ハロウィン(10月)など定期的に交流をしています
(主に児童発達支援)



地域を交えたお祭り 「桜まつり」

年に1度桜の時期(3~4月)に、
お寺で開催するお祭りに
一緒に企画・運営する側として参加します



身近な世界とつながりながら、共に生きることを学びます

すべてのひとを包みこむ共生と循環のコミュニティ

医療法人
友愛会グループ



2017年、お寺と豊かな自然がある里山に、医療施設/高齢者福祉施設を開設しました。2023年に児童福祉施設「サトヤマキッズ」がオープン。
こどもからシニアまで、また行き場のない動物も。元気な人もそうでない人も、障がいのある人もない人も、すべての人を包み込む共生と循環の地域コミュニティを目指し、歩みとチャレンジを続けています。



■事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス
サトヤマキッズ

■利用時間

◇児童発達支援（未就学児）

- ・平日：9時～11時（月曜は開所なし）
- ・土曜：9時～11時

◇放課後等デイサービス（小学生）

- ・平日：放課後～17時
- ・土曜：12時～16時
- ・長期休暇：10時～16時

■休業日

日曜日・祝日、お盆期間、年末年始等

■定員：10名/日

 www.satoyamakidz.link

 @satoyamakidz



〒410-0304 沼津市東原566-1 宝珠院内
さとやま整形外科内科 隣り

ご自宅、通園/通学先まで送迎いたします
(送迎範囲は概ね施設より15分圏内です)

 050-5536-3023 (代表)